



読書の魅力 本との出会い ぶっくぶっく文庫

◆頑張っている人物やグループを
広報編集委員が紹介するページです。担当/十萬真明



毎週土曜日、午後1時30分から3時まで「ぶっくぶっく文庫」は香我美町旧山南保育所で開いています。ここには子ども向けの本だけでなく、大人向けも含めて約二千冊の本があり、3人のボランティアで運営しています。

この文庫は、地元山南の西内巳佳子さんが始められ、30年以上の歴史を持っています。今回取材した日には、西川や徳王子地区から十数人の小学生が自転車で来ていました。

本のある児童館

「本はあんまり読まんけど友達がおるき来る!」という子どもが多く、代表の長崎万里子さんは「ここで本を読む子は少ないねえ。小さい子がたくさん来よったころは、絵本を読んだりしよったけど、今は図書室のある児童館という感じがな」とのこと。

10月はお月見会

文庫では毎月1回、季節のイベント「ぶっくぶっくくらぶ」を開催しています。春は近くの水晶山へのハイキングやイモ植え。取材した9月には「残暑をふっ飛ばせかき氷大会」にぎわっていました。10月はお月見会を



どの本に出ちゅう??

毎週土曜日の開館日には、必ず数冊の読み聞かせをし、子どもたちの小さな発見を本に結びつけるようにしています。

「どの本に出ちゅうろっねえ。探してみん?」と語りかけ、「すぐにはなく、時間が経たなくても読書のすばらしさを感じてほしい。学校の10分間読書の『つぎ』に続いてほしい」と長崎さんは願っています。

来年は国民読書年

来年は「国民読書年」で、活字離れ・読書離れに歯止めをかけようと、さまざまな推進活動が行われます。しばらく本から遠ざかっていた皆さん。読書の秋です! 本との時間を過ごしてみませんか?

新しい本ばかりでなく、思いつきの本や懐かしい本が、皆さんや子どもたちとの出会いを待っています。ぜひ、子どもたちと一緒に「ぶっくぶっく文庫」へ遊びに来てください。

ボランティア募集

本や子どもが好きな方
大歓迎!!

●問い合わせ
ぶっくぶっく文庫
長崎 ☎ 54-3777

おわびと訂正

9月号「やりゆうでえ」の前任職のお名前を間違っていました。正しくは池田宗石氏です。訂正しておわびいたします。

編集後記

◆金婚式・敬老会でのあふれる笑顔(〇)人生の先輩方に敬礼! オールドパワーに負けないように頑張れ自分(S) (S) 広報へのメール
kouhou@city.kochi-konan.jp
香南市のホームページ
http://www.city.kochi-konan.jp

市のうごき (H21. 8. 31現在) ()は昨年同月対比

■人口/33,771人	■8月の火災・救急事故
■世帯/13,786戸	■火災 0件(2件減)
(男/16,104人 女/17,667人)	■救急 130件(35件減)
■出生/ 16人 ■死亡/ 46人	■8月の交通事故
■転入/ 87人 ■転出/ 62人	■事故件数 12件(増減0)
■対前月人口比/ 5人減	■死者 0人(増減0)
	■傷者 14人(2人増)